

2026 年 10 月 5 日

出光エネルギーソリューションズ株式会社

News Release

出光エネルギーソリューションズ

「令和 8 年度 北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞」

省エネ部門 奨励賞を受賞

～放射冷却素材「Radi-Cool（ラディクール）」の自治体施設導入を通じた省エネルギーの推進～

出光エネルギーソリューションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：久野村 務、以下「出光エネルギーソリューションズ」）は、放射冷却素材「Radi-Cool（ラディクール）」を活用した北海道自治体における省エネルギー推進事業において、「令和 8 年度 北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞」の省エネ部門 奨励賞を受賞しました。放射冷却素材「Radi-Cool（ラディクール）」を活用した北海道内の自治体施設への導入をはじめ、暑熱対策・省エネルギーへの貢献、地域での認知活動など、一連の取り組みが評価されました。

■ 受賞概要

受賞内容：令和 8 年度 北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞 省エネ部門 奨励賞

対象事業：放射冷却素材「ラディクール」を活用した北海道自治体における省エネルギー推進事業



写真左：幌加内町役場庁舎（2025 年導入）



写真右：和寒町役場庁舎（2026 年導入）

■ 評価された取り組み

近年、地球温暖化の影響による気温上昇が進み、北海道においても夏季の暑熱対策が重要な課題となっています。公共施設では、快適な執務環境や来庁者の利便性を確保するため、冷房設備の導入が検討される一方で、多額の設備投資やエネルギー消費の増加への対応に加え、脱炭素化との両立が求められています。

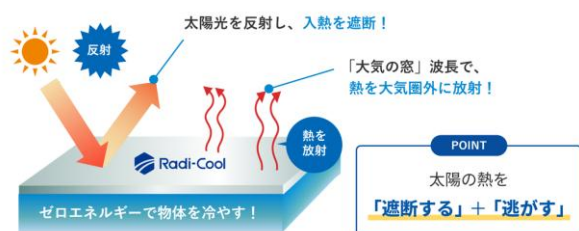
「Radi-Cool（ラディクール）」は、太陽光を反射して熱の侵入を抑えるとともに、物体に蓄積された熱を大気圏外へ放射する「放射冷却」の原理を利用した素材です。フィルムや塗料として既存施設にも導入でき、冷却のための電力を必要としないことから、省エネルギーや暑熱対策への貢献が期待されています。

出光エネルギーソリューションズは北海道内の自治体と連携し、公共施設への導入を進めるとともに、体験会などを通じた認知活動にも取り組んでいます。本取り組みが、公共施設における省エネルギー化および脱炭素化の推進に寄与するとともに、地域の持続可能な発展につながることを期待しています。

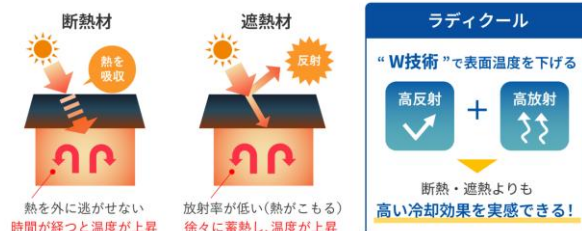
■ 電力を使わない、新しい暑熱対策 放射冷却素材「Radi-Cool（ラディクール）」

放射冷却素材「Radi-Cool（ラディクール）」は2017年に米・コロラド大学ボルダー校の研究チームにより、世界トップの科学誌「サイエンス」で発表したことで生まれました。日射を高い割合で反射する既存の技術と、高い放熱技術を複合することにより製品表面への蓄熱を防ぎ、なおかつ裏面の熱も吸収、放射を可能とすることで、空調負荷の低減による省エネルギー化や快適な室内環境づくりに貢献します。

ラディクールの冷却メカニズム



断熱・遮熱との違い



■ 地域と連携した体験・認知活動

「Radi-Cool（ラディクール）」の効果をより身近に感じていただくため、幌加内町役場にて体験会を開催しました。自治体職員や地域関係者の皆さまに、放射冷却による涼しさを実際に体感いただくなど、認知拡大に向けた活動にも取り組んでいます。



出光エネルギーソリューションズでは、サステナビリティ経営を推進し、幅広いエネルギーソリューションを提供しています。放射冷却素材「Radi-Cool（ラディクール）」を通じて、環境と労働の両面における課題を同時に解決し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

出光エネルギーソリューションズ株式会社 ソリューション事業部 事業推進課

東京都千代田区神田練堀町 3 番地 AKSビル 7 階

お問い合わせ：弊社ソリューション情報サイト[「お問い合わせ」フォーム](#)よりお願いいたします

🔍 出光 ラディクール

検索

